

試合番号 : 101	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 1,345			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:30	試合時間 : 01:30			
主審 : 國頭 亮太	副審 : 中山 健				
ウルフドッグス名古屋	通算 5勝 2敗 ポイント : 15	25 第1セット 13	VC長野トライデンツ	通算 0勝 7敗 ポイント : 1	
<b>監督コメント</b> 相手のチームのアグレッシブなプレーに対して、我々ウルフドッグス名古屋も目指したい安定したラリーボールを展開することで組織的なディフェンスを練り広げることができました。明日は新たな試合になると思いますので、これからの時間を有効に活用し、よい準備をしたと思います。エントリオにかけつけていただいたファンの皆様、またメディアを通じて応援していただいている世界中のファンの皆様、本当に熱い応援ありがとうございます。	3	25 第2セット 18	0	<b>監督コメント</b> 本日も沢山のご声援ありがとうございました。ウルフドッグス名古屋の高いブロックと固いディフェンスに対応しきれずに終わってしまいました。高いブロックや固いディフェンスをどの様に崩していくのか、選手一人一人が考え、工夫しなければならぬと思いました。明日は少しでも食らい付いていけるよう、気持ちを全面に出しながらも工夫をし、戦い抜きたいと思っています。明日もご声援よろしくお願いいたします。	
		25 第3セット 14			
		第4セット			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> 連勝して上位に食い込みたいウルフドッグス名古屋と今シーズン初勝利を目指すVC長野トライデンツの1戦。第1セット、WD名古屋は序盤山崎のサーブから流れを作ると要所でクレクと高梨のブロックが決まり一気にVC長野を突き放す。終盤代わって入った椿山がスパイクを決め、安定した攻守を見せたWD名古屋がセットを先取した。第2セット、サイドアウトの応酬で迎えた中盤、流れを掴みたいVC長野は波佐間のサーブやトレント、中村のスパイクで粘りみせるもWD名古屋はクレク、山崎のスパイクで一歩抜け出し、最後は傳田がブロックを決めセットを連取した。第3セット、WD名古屋はクレク、王のブロックで一気に6-1とリードする。VC長野は池田(颯)や藤原のスパイク、下川の粘りのレシーブやブロックで追い上げをみせるが、このセットで6本のブロックを決めたWD名古屋が流れを渡さず、3-0で勝利した。					

試合番号 : 139	試合会場 : 旭川市リアルター夢りんご体育館 (旭川市総合体育館)	観客数 : 722			
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:02	試合時間 : 01:32			
主審 : 高橋 宏明	副審 : 澤 達大				
ヴォレアス北海道	通算 0勝 7敗 ポイント : 0	13 第1セット 25	JTサンダーズ広島	通算 6勝 17敗 ポイント : 17	
<b>監督コメント</b> 今日はパフォーマンスに浮き沈みが多すぎました。第1セット前半と第2セットは整調でした。しかし良いレシーブを返してもサイドアウトできないローテーションに陥ることが多かったです。もちろん、JTサンダーズ広島のブロックとディグのパフォーマンスも素晴らしいです。明日は今日の試合を分析して、JT広島の高いブロックに対するより良い解決策を見つけ、効率的な方法で攻撃したいと思います。スコアに関係なく応援して下さったファンの皆様をサポートに感謝いたします。	0	22 第2セット 25	3	<b>監督コメント</b> チームの持ち味であるサーブとブロックが機能した点は評価できますが、各セットの序盤で相手にペースを握られたことは明日のゲームに向けて修正すべきポイントです。寒い中、たくさんのご声援ありがとうございました。明日もチーム一丸で戦います。	
		14 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
<b>要約レポート</b> ホームゲームで初勝利を掴みたいヴォレアス北海道がホームにJTサンダーズ広島を迎える一戦。第1セット序盤、JT広島・川口の速攻やブロックで差を広げるも、ヴォレアスはサーブと谷尻の好レシーブで10-10に持ち込む。しかし、JT広島は川口のサーブでヴォレアスを崩し、江のブロック、坂下のレシーブからラッセルの攻撃へとつなぐ。11-13から14連続得点と流れに乗ったJT広島が第1セットを先取した。第2セット、ヴォレアスは張をスタートから起用し、張、ルーク、井上を中心に8-3と優位に試合を進める展開となった。JT広島は高さのあるブロックを武器にヴォレアスの攻撃を切り返すが、18?20と点差が縮まらないまま終盤へ。ここでJT広島は、井上(慎)、金子を起用し、ラッセルのサービスエースで24-22と逆転。ヴォレアスは酒井を入れるも、最後はJT広島ラッセルのバックアタックでセットを連取した。第3セット、JT広島はラッセル、江を中心に攻撃し、ヴォレアスは山岸、後藤のブロックで8-8と両者譲らない展開となる。しかしJT広島・前田のトスワークが冴え、15-8とJT広島がリード。ヴォレアスは本澤、古賀、米村を起用し反撃を試みるも、JT広島は流れを譲らず、セットカウント3-0で勝利した。					

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :			
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :			
主審 :	副審 :				
通算	- 勝 - 敗 ポイント : -	第1セット	通算	- 勝 - 敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット	監督コメント		
		第3セット			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート					

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :			
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :			
主審 :	副審 :				
通算	- 勝 - 敗 ポイント : -	第1セット	通算	- 勝 - 敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット	監督コメント		
		第3セット			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート					